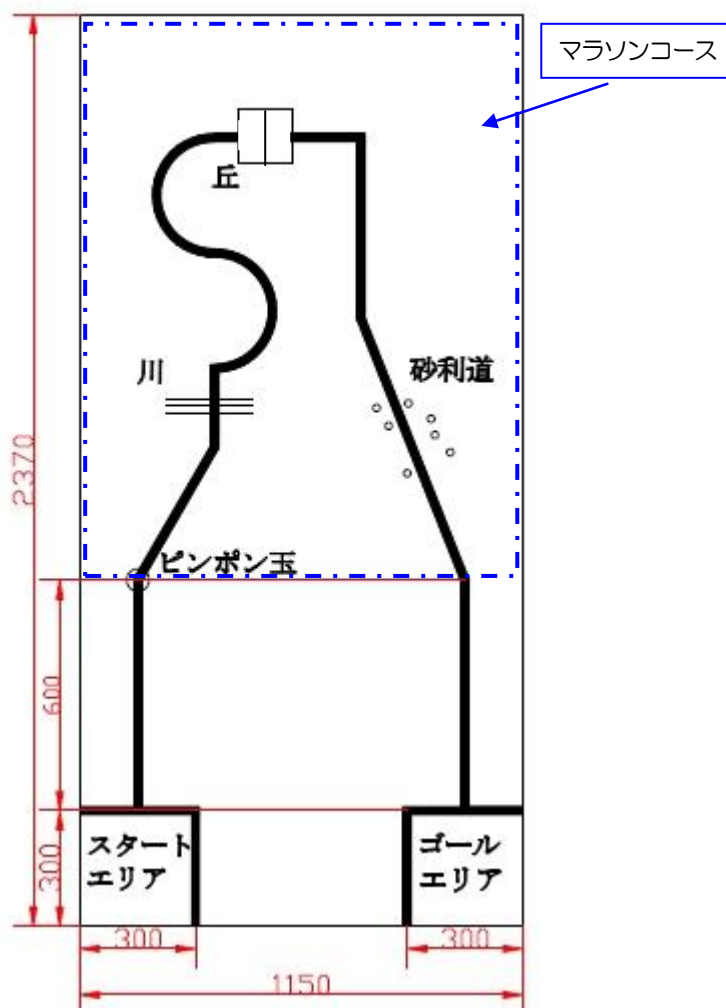


ロボット障害物マラソン（小学生部門）

スタートエリアを出発したロボットが、ピンポン玉を拾い、ラインレースしながら数箇所の障害物を走破し、ピンポン玉をゴールエリアに運ぶ競技。

競技会当日、内容の変更（サプライズルール）が発表される。

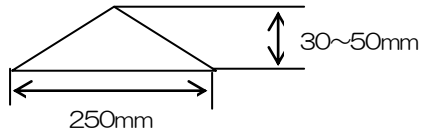
1. 競技コート



※ マラソンコースを示す青色の枠線は実際のコートにはない
 <競技コート図（マラソンコースの障害物の数や位置は例）>

- 1) コートは、木材、プラスチック、などいくつかの素材でできている。
 コートサイズより小さなテーブルに置かれている。
- 2) コートは長さ2370mm、幅1150mmである。競技コート周囲に壁はなく、床は白である。
 黒ラインは、幅 20 ± 2 mmである。
- 3) スタートエリア、および、ゴールエリアは、長さ300mm、幅300mmである。
- 4) マラソンコースは、スタートエリア、および、ゴールエリアのそれぞれと長さ600mmのストレートの黒ラインでつながっている。

- 5) ピンポン玉は、直径 40mm のオレンジ色で、スタートエリアからマラソンコースまでのびている黒ラインの端に固定された 2×2 (高さ 3) の黒色ブロック上に置かれている。
- 6) マラソンコースには、次の 3 つの障害物が少なくとも 1 つずつあり、コートに固定されている。
- ① 川 (1×16 (高さ 3) の黒色ビームで構成)
 - ② 丘 (木製 幅 250mm, 高さ 30~50mm)

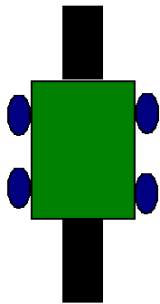
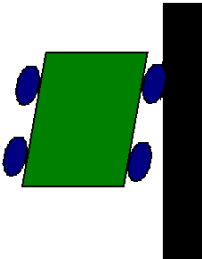
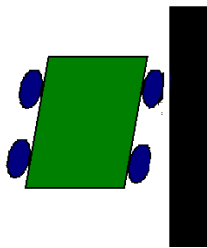


- ③ 砂利道 (2×2 (高さ 3) の黒色ブロックで構成)

2. ルール

- 1) ロボットの競技時間は 2 分間である。審判のスタートの合図の笛で競技を開始し、ミッションタイムの計測を開始する。
- 2) ロボットはスタートエリアから出発しなくてはならない。ロボットのどの部分もスタート前は、スタートエリアからはみ出てはいけない。
- 3) ロボットが 30 秒以上動けなくなった場合やコートに復帰できなくなった場合、リタイアと判断する。
- 4) ロボットが黒ラインに沿って進む際、コースを外れてはいけない。外れた場合、リタイアとする。コースを外れるとは、ロボットの接地部分 (タイヤ等) すべてが黒ラインの片側にある場合とする。

(例)

OK	OK	リタイア
		
接地部分が黒ラインの両側にある	接地部分が黒ライン上にある	接地部分すべてが黒ラインの片側にある

- 5) リタイアの場合、その直前までに獲得したポイントが認められる。
- 6) スタート後、選手がロボットに触れることはできない。ロボットに触れた場合、その時点でリタイアとみなす。
- 7) ロボット本体が完全にゴールエリアに入り停止した時点をミッション終了とし、ミッションタイムの計測を終了する。

3. ポイント

- ・ ピンポン玉運搬： 20 ポイント
 - ※ 運搬とは、ピンポン玉がロボット本体とともにゴールエリア内にあることを指す。
- ・ 川通過： 20 ポイント
- ・ 丘通過： 20 ポイント
- ・ 砂利道通過： 20 ポイント
 - ※ 通過とは、ロボット本体が各障害物を越えることを指す。
 - ※ 障害物 1 つのポイントであり、同じ障害物が複数ある場合は、その数だけポイントが加算される。